

整理番号	23-28	事務事業名	(成人保健事業) 肺がん検診事業	作成部署	保健福祉部健康管理課	電話	内線807	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村 弘志	課長職名	細川 和夫	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度		根拠法令等	健康増進法 老人保健法 がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針					
〃終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	がん患者の増加傾向に対処し肺がんの早期発見のため、老人保健法に基づく保健事業として実施した							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	健康と医療	(第1節)
	施策	保健予防の推進	(第2施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	40歳以上の市民(社会保険本人、共済組合保険本人を除く)	
	意図 (何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	肺がんの早期発見	
手段 (ここから活動指標を導きます)	16年度まで	北海道対がん協会検診センター及び市内各地を巡回しレントゲン車により実施する結核検診と併せて実施。	
	17年度	同上	

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	2,891	2,743	2,866	2,883
	合計	2,891	2,743	2,866	2,883
人件費 (概算)	人数(年間)	0.20	0.20	0.20	0.20
	1人当り年間平均人件費	9,235	9,000	9,000	9,000
	= ×	1,847	1,800	1,800	1,800
総事業費 +		4,738	4,543	4,666	4,683

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	検診対象者数	11,933人	12,587人	13,200人	13,850人
	受診者数	1,926人	1,781人	1,830人	1,830人
	精検者数	30人	34人	30人	30人
	発見がん	3人	0人	0人	0人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	受診率	16.14%	14.15%	13.86%	13.21%
	精検者率	1.56%	1.91%	1.64%	1.64%
	発見率	0.16%	0%	0%	0%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	受診者1人当たり経費	2,460円/人	2,551円/人	2,550円/人	2,559円/人

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	肺がんの早期発見のため必要な事業であり、全国の市町村において実施している。
---------------------------------	---------------------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	がん検診事業の一つとして市において実施すべき事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	肺がんの早期発見のため必要な事業であり、対象、目的は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	検診は、北海道対がん協会及び結核予防会(レントゲン車巡回)に委託しており、手段は適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	結核検診と併せて実施しているため、結核検診は法の定めにより無料であるので、受益者負担は求めない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	肺がんの早期発見に十分成果が上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	肺がん検診は十分効率的に実施している。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	肺がんを早期に発見し、市民の健康を守るために必要な検診であるため、今後も引き続き現状のまま継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり